



週報



所沢西ロータリークラブ

R I 第 2 5 7 0 地 区 第 3 グループ

会長 鈴木真澄 ■ 会長エレクト 内田 学
 幹事 堀江 大
 クラブ管理運営委員長 高橋和男

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ベルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122
 事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666
 例会日 毎週火曜日 (PM12:30~13:30) FAX 04-2926-5151
 E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1396 回例会 2015・6・2

卓 話	例会当番	記念祝福
6/2 炉辺会議	中村 茂	会員誕生
6/9 埼玉県議会議員 岡田 静佳様	平岡 徳大	荻野 賢司 石井 秀夫 師岡 友次
6/16 埼玉県所沢警察署 交通課長 田中 守様	平林 忠	

■出席報告	
月 日	5/26
会員数	36
出席者	30
出席率	83%
前回修正	86.1%

会長の時間

鈴木 真澄

本日は「社会福祉法人桑の実会」の桑原哲也理事長様には大変お忙しい中、お引き受けいただき、誠にありがとうございます。

実は桑原理事長さんの「桑の実会」では、後程お話があると思いますが、本日の表題にもありますように、保育、介護施設、医療施設（クリニック）等幅広く経営をしておられて、先日介護施設を見学させて頂いたのがご縁で、今回卓話をお願いすることになりました。

現在日本で一番重要かつ必要をされている、高齢者施設と介護の問題、そして保育施設の不足、医療関係では高齢者がすぐに行ける場所（クリニック）等、国として、不足しているところに、貢献している素晴らしい企業を経営しておられる桑原理事長さまです。

この後お話があるかと思いますが、少し訪問した時の感想をお話します、介護に関しては、一人ひとりにマッチしたケアができるサービス内容であることは勿論ですが、そして施設が皆が寄り添え

るような、小さな「一つの町」のような感じがしました、というのは介護を必要とする人がいて、まったくの健常者もいて、保育施設では子供達が楽しく遊んでいる姿もあり、一般の人の使用できる食堂もあり、部屋のドアを開けると廊下が道のような感じですし、元気な人が歩いていたり、ご夫婦がいたり、車いすのひとがいたり、病院の中という雰囲気ではない、普通の町のように感じがしたのが一番印象的でした。

そして入居者のために使いやすく、明るくて、綺麗でとても過ごしやすそうな施設でした。

それから地域の皆さんの為の一室があることで、地域の皆さんのコミュニティーの場として、また会議室等でも使用できる「地域貢献型フォーム」でもあり、無料で借りられるということで、素晴らしい地域貢献をしておられる企業経営者として感動致しました。

卓話楽しみにいたしております。

幹事報告

堀江 大

- ◆2015年6月のローターレイト 1ドル=118円
- ◆【再送】高校生社会体験活動ご協力をお願い
- ◆「西アフリカ・ブルキナファソでの人道的支援活動」当地区発案によるグローバル補助金使用例第1号となる活動説明会のご案内・・・6/2(火)17:30～ オルモ
- ◆ロータークラブ・セントラル体験セミナーのご案内・・・6/28(土)13:30～ 国立女性教育会館
- ◆RLI研修セミナー日程及び活動表について
- ◆6月2日(火)通常例会時間で炉辺会議を行います。後ほど案内FAXを送信します。
- ◆本日の糍谷八幡湿地保存会の田植えにご参加の皆様お疲れ様でした。
- ◆5月27日(水)の所沢市内5RC合同懇親チャリティゴルフコンパ終了後、当クラブの懇親会を行います。
- ◆例会変更・・・狭山中央RC、所沢中央RC

奉仕プロジェクト委員長

大館 信夫

5月26日(火)糍谷八幡湿地保存会の皆様による三ヶ島小学校5年生の米作り体験学習 田植えに参加して参りました。保存会活動は11年、小学生の田植え学習は9年目ということでした。里山が整備されて、トンボが飛び、野鳥が鳴き、久しぶりに田んぼでカエルの音を聞きました。



御礼 中 毅志

御礼を申し上げます。先日の妻の葬儀に際し、御会葬並びにお気遣いいただき感謝いたします。三十五日忌の納骨も無事済みますことができました。これから活動を再開させていただきますので、宜しく御願います。有難うございました。

ニコニコボックス

師岡 友次

- 鈴木 真澄 本日は大変忙しい中桑原理事長様には卓話をお引き受けいただき有難うございます。
- 堀江 大 桑原様本日よろしくお願います。
- 内田 学 桑原様本日はよろしくお願致します。ストレッチやりすぎて体が痛いですが。明日はどうか？ 100を切りたいです。
- 須澤 一男 桑原理事長卓話に来ていただき有難うございます。いつもは仕事の上でお世話になっております。30年前には貴男のお父さんに大変お世話になりました。
- 大館 信夫 八幡田んぼの田植えにご参加の堀江幹事、荻野(賢)様、山崎様 新井様 御苦労様でした。
- 本橋 正夫 来週の例会、職業奉仕委員会の炉辺会議です。会場は堤新亭です。時間は通常例会と同じです。全員出席、よろしくお願致します。
- 中 毅志 先日は御会葬並びにお気遣いいただき有難うございました。これからも宜しくお願致します。
- 高橋 和男 桑原理事長様 今日是有難うございます。すみません。早退させていただきます。
- 石井 秀夫 前回 前々回欠席致しました。申し訳ございませんでした。
- 小暮 博文 早退します。
- 大原 律子 5月23日(土)ローターの森の清掃に所沢東RCさんの元事務局 金井さんと行ってきました。約150名の参加でした。西クラブの「ヤボウシ」の木は周りの大きな木の陰ですが、黄緑色の葉、たくさんの新芽が出て頑張っていました。作業後のバーベキューは6名ご参加の所沢中央RCさんの畑中様がお誘い下さり、楽しんできました。有難うございました。



卓話《その子らしさとその人らしさを
求めての保育・介護・医療》を目指して
社会福祉法人 桑の実会
理事長 桑原 哲也様



私は両親とも昭和45年に東狭山ヶ丘地に移り住んできました。高校2年よりはアメリカ・ロスアンゼルス

の地で高校から大学を卒業する8年間、パサデアにある老人ホームに住み込みながら勉強してきました。その頃父は本当に何にもないころから地域へ福祉への熱き思いで「一人ひとりを大切にする福祉」創生の原点のもと40人定員の保育園からスタートさせました。その後市内で2番目に古い特別養護老人ホーム康寿園が30年になりますが、この二つの施設が草創期の原点の桑の実会であとなりました。

その後私が2代目として法人を引き継いだのが1990年の私が32歳からで、現在25年近となり、当法人も来年で創立40年となります。この間の原点である保育から介護の事業をスタートとしたことが大きな意味がありました。現在までに至る高齢者介護と医療までを含めた施設及び世代間交流型の地域福祉施設と事業をどのような思いで展開してきたかをパワーポイントで紹介しました。

その子らしく、またその人らしく、輝きながら成長し高齢であっても、最後まで元気に暮らし続けられることを原点として、保育事業は15施設16事業と介護施設は9施設28事業と医療事業の2つの診療所の経営で保育従事者400名介護従事者450名の合計850名となっている。総事業費は年間40億であります。そして経営計画は5年ごとの中期経営計画を作成しながら現在は第3期目の2020年までの5年の経営計画を作成しています。その行動目標は保育・介護・医療を通して地域社会を育むとして・・・来る2025年の超高齢社会が日本のみならず世界から注目させている地域包括ケアの確立であります。その構築のために所沢を4つのエリアに分



けて地域の方々が最後まで住み続けられるための安心ネットワークの構築とする。その実現のために保育部と介護+医療を含めた介護部ではそれぞれに地域別で総合医療福祉エリアと称しております。

特に保育園は沿線ですつながっていることも意識してさいたま市と戸田市を含めた「中央エリア」と所沢市と三芳町を含めた「埼玉西エリア」と足立区と目黒区と国分寺市を含めた「東京エリア」と横浜市鶴見区を中心とする「横浜エリア」の4に分けて人材育成と人材確保の保育サービスの質と保育経営の評価と総合的人材育成を経営の念頭において進めている。そして今年度末には中目黒に15所目の小学校併設の保育園+学童保育ができます。

介護においては今後地域ネットワーク構築のためにエリア別に（介護+医療）を終末医療ケアの中心で進めていきたい。そのための医療法人を作るのではなく、社会福祉法人の内部組織として取り入れたことがこれからの医療福祉の統合に向けていくチャンスと捉えています。それゆえに地域での在宅ケアと在宅医療の地域包括ケアのネットワークの推進になると考えていく環境を構築したのでした。

最後に、人材育成を様々な職種があるなかでキャリアパスを構築して公益事業として桑の実学校の内外研修制度の充実で地域には無くてはならない人材育成の場として職員と地域の福祉人材力ため、そして福祉の人材の社会的地位の向上を目指しての従業員満足度とサービスの満足である顧客満足と経営満足に繋げられる経営品質を目指すことしたい。

そして桑の実会の2020年までの行動目標である世界に貢献できる桑の実会とすることを目指していきたい。桑の実会の永遠の指針である「安全・安心・実践の第一で人材育成の桑の実会」を「人もって城」して世界の手本となる総合力をつけていきたいと述べて最後に感謝の言葉で締めくくった。

今週の担当 太田 一夫